

# 平成31年度一般選抜学力検査問題

## 社 会

( 5 時間目 50分 )

### 注 意

- 1 問題用紙と解答用紙の両方の決められた欄に，受検番号と氏名を記入しなさい。
- 2 問題用紙は開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 3 問題は1 ページから6 ページまであり，これとは別に解答用紙が1 枚あります。
- 4 答えは，すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号		氏 名	
------	--	-----	--

1 次の表は、わが国の貨幣の歴史と経済の発展についてまとめたものである。これと年表、図を見て、右の(1)～(10)の問いに答えなさい。

表

時代	貨幣の歴史と経済の発展													
古 代	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 律令に基づく政治を行う国家を目指す中で、わが国最初の銅銭である <b>あ</b> や、和同開珎などの貨幣が造られた。</li> <li>• 都に設けられた市では、各地から送られてきた産物が売買された。</li> </ul>	<p>資料1 都の区画</p>												
中 世	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ㉑中国から輸入された大量の宋銭や明銭が、商業の取り引きに使われた。</li> <li>• 寺社の門前や交通の要所には、市が <b>い</b> に開かれるようになり、次第に場所や回数が増えた。</li> </ul>	<p>資料2 市の様子</p> <p>(「一遍上人絵伝」清浄光寺蔵)</p>												
近 世	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 江戸幕府は、金貨や銀貨、銭貨を造り、全国に流通させた。</li> <li>• 財政難に苦しむ幕府や藩では、たびたび ㉒財政の改革が行われた。改革の影響は、貨幣経済が広がる農村にも及んだ。</li> </ul>	<p>資料3 小判に含まれる金の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小判の種類</th> <th>年</th> <th>金の割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>慶長小判</td> <td>1600年</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>元禄小判</td> <td>1695年</td> <td>57.4%</td> </tr> <tr> <td>正徳小判</td> <td>1714年</td> <td>84.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「国史大辞典」などから作成)</p>	小判の種類	年	金の割合 (%)	慶長小判	1600年	84.3%	元禄小判	1695年	57.4%	正徳小判	1714年	84.3%
小判の種類	年	金の割合 (%)												
慶長小判	1600年	84.3%												
元禄小判	1695年	57.4%												
正徳小判	1714年	84.3%												
近 代	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政府は、㉓殖産興業政策を進める中で、円などを単位とする貨幣制度を整備した。</li> <li>• 近代産業の発展とともに、わが国の ㉔国際的地位の向上がみられ、国際的に活躍する人物も登場した。</li> </ul>	<p>資料4 新渡戸稲造</p> <p>第一次世界大戦後 に開かれた <b>う</b> では、 アメリカ大統領の提案を基に <b>え</b> の設立が決まった。 発足後、新渡戸は事務局次長を務めた。</p>												
現 代	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 戦後の復興を経て、わが国は経済成長を続けた。国際社会に復帰したのち、㉕国交の回復も進んだ。</li> <li>• 経済の状況などに応じて、硬貨や紙幣が製造される一方で、近年は電子マネーの普及が進んでいる。</li> </ul>	<p>資料5 わが国の硬貨の製造枚数</p> <p>(「造幣局ホームページ」から作成)</p>												

- (1) 表の **あ** にあてはまる語を書きなさい。
- (2) 資料1の都を中心に政治が行われた時期のできごとを、一つ選んで記号を書きなさい。  
**ア** 鑑真が遣唐使とともに来日した      **イ** 奥州藤原氏が平泉を拠点に繁栄した  
**ウ** 天智天皇が全国の戸籍を作成した      **エ** 平将門が関東で反乱を起こした
- (3) 下線部②について、日明貿易を開始した人物を、一人選んで記号を書きなさい。  
**ア** 足利義満      **イ** 平清盛      **ウ** 北条時宗      **エ** 豊臣秀吉
- (4) 表の **い** に入る適切な語句を書きなさい。
- (5) 資料2に描かれた **X** の人物の説明として適切なものを、一つ選んで記号を書きなさい。  
**ア** 題目を唱えれば救われると説いた      **イ** 座禅によって悟りを開こうとした  
**ウ** 各地に国分寺・国分尼寺を建てた      **エ** 踊りを取り入れて念仏をすすめた
- (6) 下線部⑥について、資料3を見て、次の問いに答えなさい。  
 ① 元禄小判を発行したときの将軍は誰か、書きなさい。  
 ② 幕府が正徳小判を発行したねらいを、次の語を用いて解答欄にしたがって書きなさい。

〔質 物価〕

- (7) 下線部③について、次の年表を見て、**A**の時期のできごとを、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア** 八幡製鉄所の操業開始      **イ** 工場法の制定  
**ウ** 新橋・横浜間の鉄道開通      **エ** ラジオ放送の開始

- (8) 下線部④について、年表の**B**の時期に、条約の改正を実現した外務大臣は誰か、書きなさい。また、実現した内容を書きなさい。

- (9) 資料4の **う** と **え** にあてはまる語の正しい組み合わせを、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア** う ワシントン会議      **え** 国際連盟  
**イ** う パリ講和会議      **え** 国際連盟  
**ウ** う ワシントン会議      **え** 国際連合  
**エ** う パリ講和会議      **え** 国際連合

- (10) 資料5を見て、次の問いに答えなさい。

- ① **I** と **II** のそれぞれの時期において、下線部⑤に関するできごとを、一つずつ選んで記号を書きなさい。

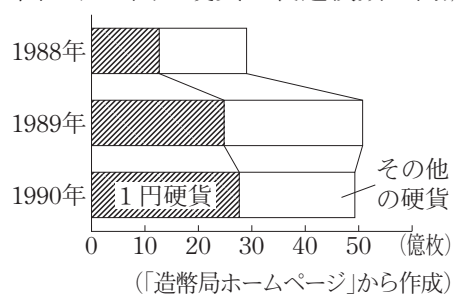
- ア** 日韓基本条約      **イ** 日独伊三国同盟  
**ウ** 日ソ共同宣言      **エ** 日中共同声明

- ② **III** の時期に、硬貨の製造枚数が増加した理由を、当時新しく導入された税制と、右の図から読みとれることを関連づけて書きなさい。

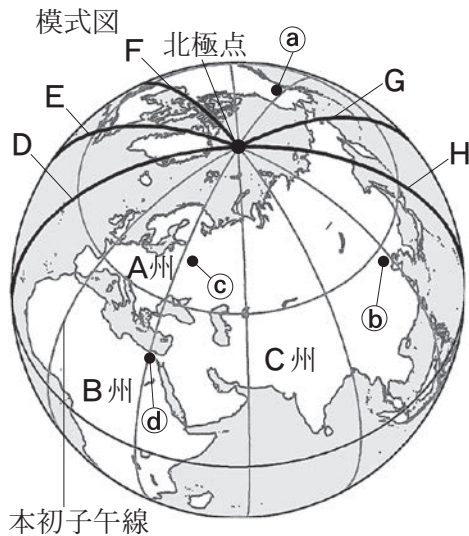
年表

年代	主なできごと
1860	
1870	大政奉還 通貨単位「円」誕生
1880	日本銀行設立
1890	大日本帝国憲法発布 日清戦争
1900	日露戦争
1910	第一次世界大戦参戦
1920	大戦景気

図 わが国の硬貨の製造枚数の内訳



2 次の模式図と図、表を見て、(1)～(5)の問いに答えなさい。



本初子午線

※ロシア連邦はA州に位置づけている。  
 ※経線は30度ごとに引いている。

図1 南アメリカ州 図2 農産物の州別生産割合(%)

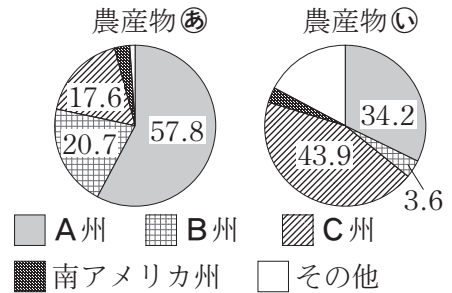


表 各州の比較

州	面積 (万km <sup>2</sup> )	人口 (百万人)	穀物生産量 (百万t)	原油産出割合 (%)
南アメリカ州	1 783	424	185	9.8
㊸	2 305	742	Y	9.7
㊹	3 192	4 504		
㊺	3 031	1 256		

(図2, 表は「データブック オブ・ザ・ワールド2018年版」などから作成)

(1) 模式図の㊸～㊺に位置する都市の中から、わが国との時差が最も大きい都市を、一つ選んで記号を書きなさい。

(2) 図1のXと同じ経度を示す経線を、模式図のD～Hから一つ選んで記号を書きなさい。

(3) 図2の農産物㊸と農産物㊹にそれぞれあてはまるものを、一つずつ選んで記号を書きなさい。  
 なお、図2のA～C州は、それぞれ模式図のA～C州を表している。

ア オリーブ    イ 米    ウ 小麦    エ コーヒー豆    オ とうもろこし

(4) 表の㊸～㊺は、それぞれ模式図のA～C州のいずれかを表している。Yにあてはまる数値の正しい組み合わせを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア	イ	ウ	エ
529    43.8	529    17.3	1 339    43.8	1 339    17.3
1 339    17.3	1 339    43.8	529    17.3	529    43.8

(5) 図3と図4は、表の各州からGDP上位国を1か国ずつ取り上げ、比較したものである。

① 図3のA～ウは、水力、火力、原子力のいずれかの発電量の割合を示している。水力の発電量の割合を示すものを、一つ選んで記号を書きなさい。

② 図4から読みとれる、わが国とフランスの共通点を、両国の経済の様子と関連づけて書きなさい。

図3 発電エネルギー源別の発電量の割合

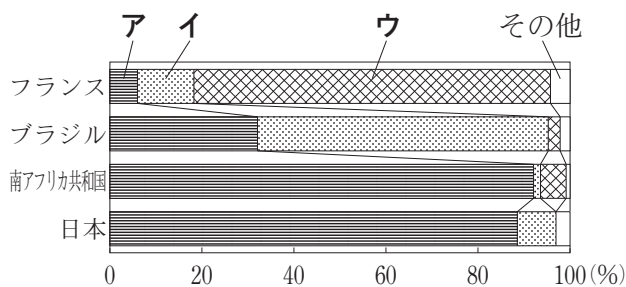
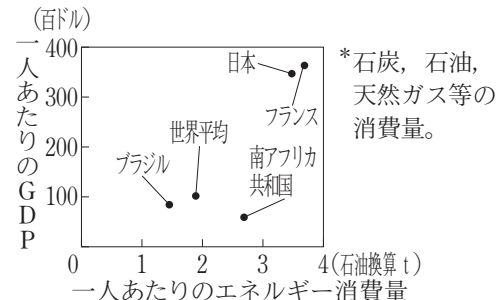


図4 GDPと\*エネルギー消費量



(図3, 4は「世界国勢図会2017/18年版」などから作成)

3 次の地図と図、表を見て、(1)～(6)の問いに答えなさい。

地図



図1 ①～③の気温と降水量

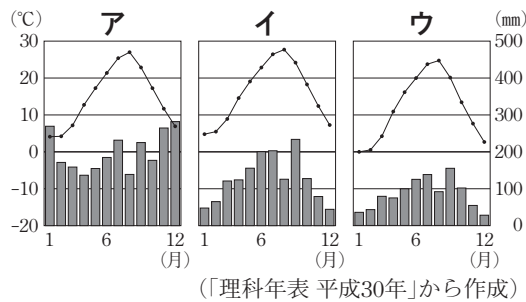
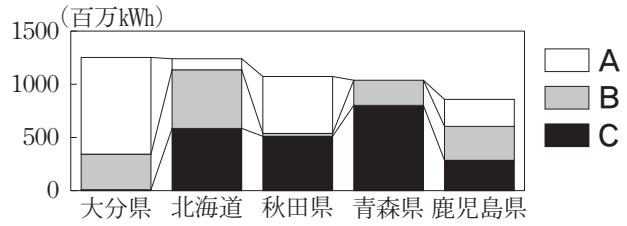


図2 風力・太陽光・地熱の合計発電量



(「電力調査統計表 平成28年度」から作成)

表1 図2の5道県の農産物の生産額(2015年)

道県	農産物の生産額(億円)			
	米	野菜	果実	畜産
ア	422	751	857	910
イ	216	366	129	454
ウ	1 149	2 224	64	6 512
エ	854	261	64	352
オ	191	557	85	2 837

(「データでみる県勢2018」から作成)

表2 肉用牛の飼育戸数と飼育頭数

項目	年	1977年	1997年	2017年
		秋田県	戸数(千戸)	11.0
	頭数(千頭)	44.9	29.2	17.1
鹿児島県	戸数(千戸)	59.5	22.7	8.4
	頭数(千頭)	214.0	285.1	306.1

(「畜産統計」から作成)

(1) 地図の札幌市のように、人口50万人以上で、都道府県の権限が一部委譲されている都市を何というか、書きなさい。

(2) 図1のA～Uは、それぞれ地図の①～③のいずれかの都市の気温と降水量を表したものである。②の都市を表すものを、A～Uから一つ選んで記号を書きなさい。

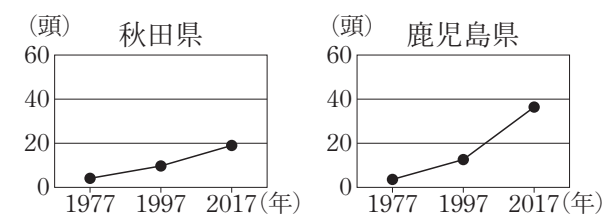
(3) 図2のA～Cは、風力、太陽光、地熱のいずれかの発電量を表したものである。Aにあてはまるものはどれか、次の文を参考に書きなさい。

Aを利用した発電は、BやCを利用した発電とは異なり、天候や季節、昼夜を問わず、安定した電力を供給できる。

(4) 表1のA～Uは、図2の5道県のいずれかである。秋田県にあてはまるものを、A～Uから一つ選んで記号を書きなさい。

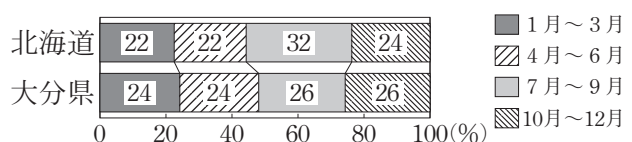
(5) 図3は、表2をもとに作成されたものである。折れ線グラフは、何の推移を示しているか、書きなさい。

図3 秋田県と鹿児島県の比較



(6) 図4を見て、年間を通した宿泊者数の割合について、二つの道県を比較して傾向の違いを読みとり、書きなさい。

図4 宿泊者数の割合(2015年)



(「宿泊旅行統計調査報告」から作成)

4 次は、望ましい社会のあり方をテーマとして、各班が調べたことをまとめたものの一部である。これらと図を見て、右の(Ⅰ)～(Ⅱ)の問いに答えなさい。

● 1 班が調べたこと

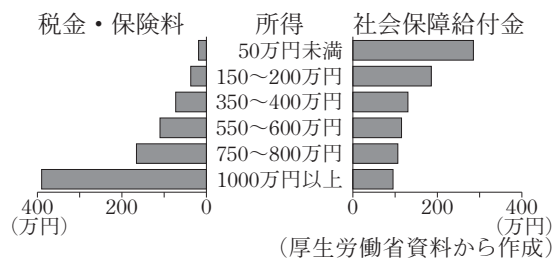
○社会保障について

図1 ある店の入口に表示されていたマーク



<マークに添えられた文>  
法律により盲導犬・介助犬・  
聴導犬は同伴できます

図2 税金・保険料と社会保障給付金(2015年)



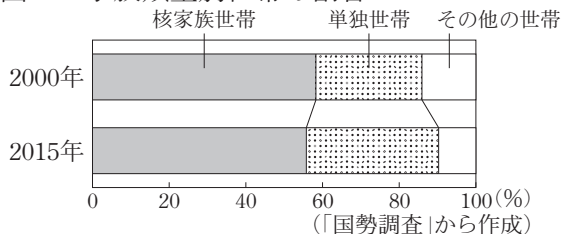
- 日本国憲法は、第14条で法の下(あ)を、第25条で生存権を保障している。
- わが国の社会保障制度は、社会全体で助け合い支えようとする中で、(い)しくみが働いている。
- 社会保障制度は国ごとに違いが見られ、(う)のように保障が手厚い国ほど、国民の負担が(え)なる傾向にある。一方で、国による保障をあまり拡充しない国もある。

● 2 班が調べたこと

○私たちにできる地域づくりについて

<私たちの地域の現状>  
・商店街に空き店舗が増えている。  
・地域の人々がふれあう場が減っている。  
<私たちの提案>  
・地域住民の交流の場として、商店街の一角に、ふれあいルームを開設する。

図4 家族類型別世帯の割合



- a 家族のかたちの変化が見られ、地域における人々の結びつきが薄れていくことが心配される。
- b ふれあいルームの開設に向けて話し合い、効率の視点や公正の視点で考えることが重要だとわかった。
- 地域づくりにおいては、積極的な住民参加が必要である。ボランティアの活動も広がりを見せており、c NPOの存在もますます重要になってきている。

● 3 班が調べたこと

○国際社会と国際協力について

図6 主な先進国のODAの実績(%) (2016年)

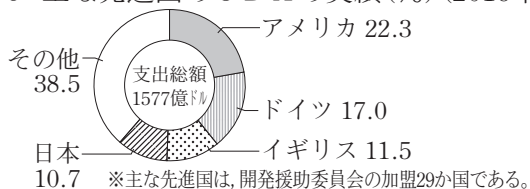
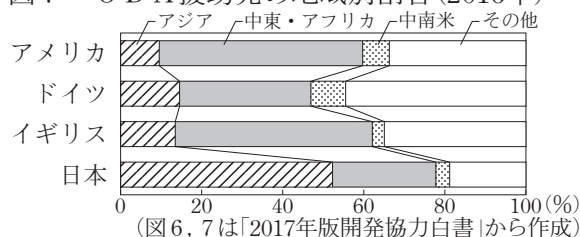


図7 ODA援助先の地域別割合(2016年)



- 現在、世界には190余りのd国家がある。
- e APECなど、特定の地域でまとまりをつくり、協調や協力を強めようとする動きが世界各地でみられる。
- 国際協力には、さまざまな支援の形があり、f ODAのような国家による援助だけでなく、g 私たちが参加できる取り組みもある。
- 現在の世代と将来の世代の幸福をともに満たすような発展が望まれている。



(1) 図1は、何の向上を図ろうとして作成されたものか、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 社会保険      イ 社会福祉      ウ 公的扶助      エ 公衆衛生

(2)  にあてはまる語を書きなさい。

(3)  に入る適切な内容を、図2から読みとり、次の語を用いて解答欄にしたがって書きなさい。〔調整〕

(4)  と  にあてはまる語の正しい組み合わせを、図3から読みとり、ア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア う オーストラリア      え 軽く  
 イ う オーストラリア      え 重く  
 ウ う デンマーク      え 軽く  
 エ う デンマーク      え 重く

(5) 下線部㉔について、図4と図5から読みとれる変化を書きなさい。

(6) 下線部㉕について、公正の視点に基づいて出された意見を、二つ選んで記号を書きなさい。

- ア さまざまな立場の人の要望が反映されるようにする  
 イ 運営に必要な労力がより少なくなるようにする  
 ウ みんなが利用しやすい使い方を考えるようにする  
 エ 開設に必要な費用に無駄がないか考えるようにする

(7) 下線部㉖の法人の設立について定めている法律を、一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 男女共同参画社会基本法      イ 製造物責任法  
 ウ 循環型社会形成推進基本法      エ 特定非営利活動促進法

(8) 下線部㉗に関して、 と  にあてはまる語を、それぞれ書きなさい。

独立した国家は、他国に支配されたり干渉されたりせず、国の政治や外交について自ら決める権利である  をもつ。国家間のきまりである  には、国と国とが結ぶ条約や、公海自由の原則のように長年の慣行で守られているものがある。

(9) 下線部㉘の参加国を、図6に示した4か国から二つ選んで書きなさい。

(10) 下線部㉙について、図6と図7から読みとれる、わが国のODAの現状を書きなさい。

(11) 次は、下線部㉚に関連して、生徒がまとめたものの一部である。 にあてはまる語を、下のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

消費者の立場から途上国の生産者の生活を支え、貧困問題を解決しようとする取り組みとして、途上国でつくられた農産物や製品を適正な価格で購入する  がある。

- ア モノカルチャー      イ フェアトレード      ウ セーフティネット      エ バイオマス

図3 社会保障支出と国民負担率(2014年)

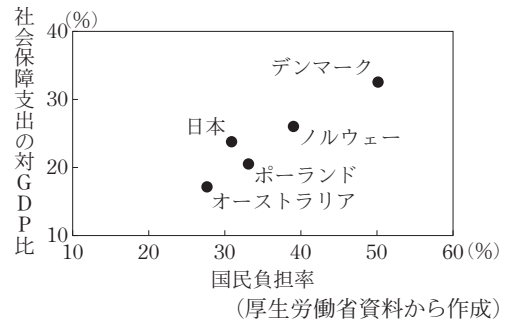


図5 単独世帯数の推移

